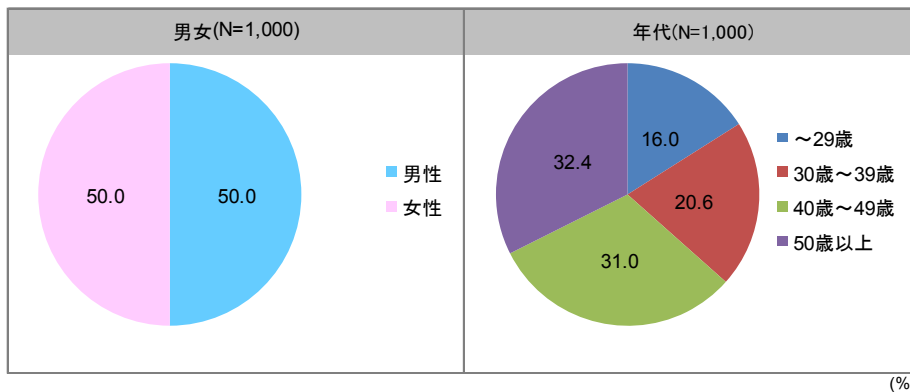


電話調査における選択肢読み上げの順序効果

調査方法： 電話調査（CATI）
 調査対象： 男女 15 歳以上 65 歳未満の一般消費者
 サンプル方法： 性別・年代・地域で割付、割付セル内 RDD サンプル
 有効回答数： 1,000 サンプル



調査内容： 政治や企業に対する考え方（2問）
 調査時期： 2009年6月13日～6月26日

■【調査目的】

電話調査における、段階尺度選択肢の表示方式によって、回答者の回答行動に及ぼす影響を検証することを目的とする。

■【質問項目】

政治や企業に関する考え方に対してどのくらい賛成かを 5 段階尺度で与えられた選択肢から選んでもらう 2 種類の質問。

質問は、無作為に対象者に割り振られ、ほぼ均等になるように行った。

※調査票の質問項目

質問 1	企業が事業で得た利益を使って、環境保全などの事業以外の活動を行うことにどれくらい (以降選択肢に合わせた聞き方)
質問 2	経済の良し悪しはその時の政治によって決まる、という意見にどれくらい (以降選択肢に合わせた聞き方)

■【選択肢項目】

段階尺度選択肢の表示方法が与える影響を検証するために、段階尺度選択肢の表示方法が異なる 4 種類を準備した。4 種類の段階尺度選択肢については、「バイポーラ尺度の昇順表示」、「バイポーラ尺度の降順表示」、「ユニポーラ尺度の昇順表示」、「ユニポーラ尺度の降順表示」の組み合わせとした。

※昇順表示と降順表示

昇順表示とは、「とても強く賛成」、「とても好き」などのように、肯定的な意味を持つ選択肢を一番初めとし、降順表示はその逆の順序となる表示方式をいう。

※バイポーラ尺度とユニポーラ尺度

バイポーラ尺度とは、賛成という方向と反対という逆の方向を持つ段階尺度の選択肢の中から当てはまるものを選択肢から選ぶ方式である。

ユニポーラ尺度は賛成の度合いがどれくらい強い、もしくは弱いかを段階尺度の中から選ぶ方式をいう。

※調査票の選択肢項目

バイポーラ／昇順表示	バイポーラ／降順表示	ユニポーラ／昇順表示	ユニポーラ／降順表示
5.とても強く賛成	1.とても強く反対	5.とても強く賛成	1.全く賛成しない
4.やや賛成	2.やや反対	4.賛成する	2.あまり賛成しない
3.どちらともいえない	3.どちらともいえない	3.やや賛成する	3.やや賛成する
2.やや反対	4.やや賛成	2.あまり賛成しない	4.賛成する
1.とても強く反対	5.とても強く賛成	1.全く賛成しない	5.とても強く賛成する
9.回答拒否	9.回答拒否	9.回答拒否	9.回答拒否

2種類の質問と4種類の段階尺度選択肢の組み合わせから、8種類の選択肢表示方式が異なった質問を採用し、一人の対象者に質問内容の異なる2種類の質問をした。

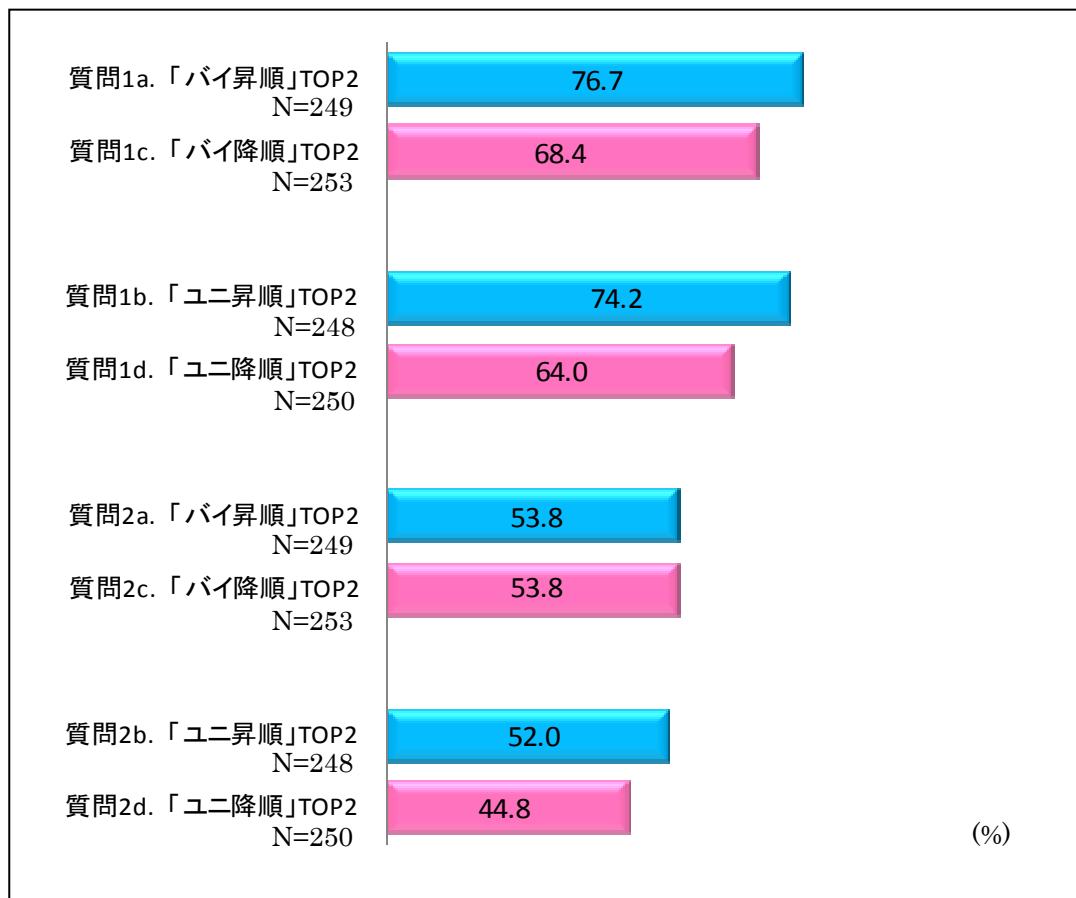
※調査票の質問項目

質問 1a	バイ昇順 n=249	企業が事業で得た利益を使って、環境保全などの事業以外の活動を行うことにどれくらい強く賛成、もしくは反対しますか。
質問 1b	ユニ昇順 n=248	企業が事業で得た利益を使って、環境保全などの事業以外の活動を行うことにどれくらい強く賛成しますか。
質問 1c	バイ降順 n=253	企業が事業で使った利益を使って、環境保全などの事業以外の活動を行うことにどれくらい強く反対、もしくは賛成しますか。
質問 1d	ユニ降順 n=250	企業が事業で得た利益を使って、環境保全などの事業活動以外の活動を行うことにどれくらい強く賛成しますか。
質問 2a	バイ昇順 n=249	経済状況の良し悪しはその時の政治によって決まる、という意見にどれくらい強く賛成、もしくは反対しますか。
質問 2b	ユニ昇順 n=248	経済状況の良し悪しはその時の政治によって決まる、という意見にどれくらい強く賛成しますか。
質問 2c	バイ降順 n=253	経済状況の良し悪しはその時の政治によって決まる、という意見にどれくらい強く反対、もしくは賛成しますか。
質問 2d	ユニ降順 n=250	経済状況の良し悪しはその時の政治によって決まる、という意見にどれくらい強く賛成しますか。

- 「バイ」は段階尺度選択肢の「バイポーラ尺度」を示し、「ユニ」は段階尺度選択肢の「ユニポーラ尺度」を示す。
- 「昇順」は段階尺度選択肢の「昇順表示」を示し、「降順」は段階尺度選択肢の「降順表示」を示す。

■【比較方法】

比較方法としては、2種類の質問に、バイポーラ尺度の昇順表示と降順表示、ユニポーラ尺度の昇順表示と降順表示の4つの組み合わせに対して「トップ2」の比較を行った。つまり選択肢の中で最も肯定的な選択肢から数えて上位2つの選択肢の割合を比較した。



- 「バイ」は段階尺度選択肢の「バイポーラ尺度」を示し、「ユニ」は段階尺度選択肢の「ユニポーラ尺度」を示す。
- 「昇順」は段階尺度選択肢の「昇順表示」を示し、「降順」は段階尺度選択肢の「降順表示」を示す。

■ 【比較結果】

- ◇ 質問1では、バイポーラ尺度の昇順表示／降順表示とユニポーラ尺度の昇順表示／降順表示の両方に、順序効果がみられた。
- ◇ しかし、質問2のユニポーラ尺度の昇順表示／降順表示では、順序効果がみられたが、バイポーラ尺度の昇順表示／降順表示では、順序効果がみられなかった。
- ◇ 今回、4つの段階尺度選択肢の組み合わせから、3つの比較検証結果で選択肢を降順表示と比べ昇順表示で提示した場合の方が、肯定的な回答を得られる傾向がみられた。しかし、質問の内容によっては、順序効果が与える影響の度合いが違うことも考えられ、その中でもバイポーラ尺度については、順序効果の影響が小さいと考えられる。

このレポートの関するお問合せはアダムスコミュニケーション調査開発部へお願い致します。